

募集情報

1. 定員

30名 ※定員になり次第締め切ります（申込は1週間前まで）

2. 受講料

① 一般：8,000円 ② 学生：6,000円 ③ SL-A（上級講座修了者）：無料

3. 講座会場

ちよだプラットフォーム 4階401会議室（千代田区神田錦町3-21）

※竹橋駅（東西線）3b出口から徒歩2分。

※大手町駅 C2b出口から徒歩8分。

4. 受講資格

災害救援ボランティアに必要な基礎的知識・技能を身につけることを希望する方とします。

18歳未満の方は保護者の承諾が必要です。

受講までの流れ

① 受講申込書をご送付下さい

別紙の受講申込書に記入のうえ、事務局までFAXまたは郵送にてお送りください。

※当委員会ホームページからお申し込み可能です。

② 受講資料と受講料振込用紙が届きます

講座初日の約2週間前に、受講書類（諸注意、地図、受講料振込用紙等）がお手元に届きます。

③ 受講料をご入金下さい

受講料を期日までにご入金ください。入金確認ができた方は、講座受講中の不慮の事故発生に備えて、事務局で一括して保険加入手続きをいたします。

④ 当日、会場へお越し下さい

認定証の交付

講座の全科目を修了し、成果が確認された方には、災害救援ボランティア推進委員会より【セーフティリーダー認定証】が交付されます。



セーフティリーダーの認定と活動

講座2日間を修了したセーフティリーダー(SL)は、【公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク】に入会することができます。入会すると、SL災害ボランティアネットワークから各種行事・訓練・施設見学会等のお知らせ及びニュースレターなどが送られます。

希望者にはボランティア保険の加入や、【SL制服】の貸与も可能です。SL制服は平時、災害時を問わず使用することができます。ぜひ、講座を受講し、SLとして一緒に活動をしましょう。入会に関することは、講座の中でご説明します。

受講申込み及びお問合せ先

《災害救援ボランティア推進委員会 事務局》

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-15-2 九段坂パークビル3階

TEL.03-6822-9900 FAX.03-3556-8217 URL <https://www.saigai.or.jp/>

午前9時半～午後5時（土日・祝日・年末年始を除く）※受講申込書はA4用紙からでもダウンロードできます。



(赤)大地震 と (青)気候変動

災害救援ボランティア講座

2023年4月新規開講

気候変動編 第1期

募集要項

日程：2023年 4月08日（土）

4月09日（日）

会場：ちよだプラットフォーム 会議室

主催：公益財団法人日本法制学会 災害救援ボランティア推進委員会

共催：公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク

主催団体紹介

【災害救援ボランティア推進委員会】

阪神・淡路大震災の教訓をふまえて、1995年7月に大都市での大地震災害に備えたボランティアのリーダーを養成することを目的に結成された委員会で、公益財団法人日本法制学会内委員会です。設立時代表は元内閣官房副長官、石原信雄、現会長は香山充弘、元総務省事務次官です。

1995年12月に災害救援ボランティア基礎講座を開講し、以後、今日まで首都圏を中心として講座を開催し、約1万2千人以上のセーフティリーダー（略称はSL）を養成してきました。

【公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク】

養成されたSLによるボランティア活動組織がSL災害ボランティアネットワークで2014年3月に、公益認定を受け、公益社団法人として首都圏を中心に活動しています。

【公益財団法人日本法制学会】

1913年3月に創立された組織で、1951年8月に財団法人、2014年4月に公益認定を受けて公益財団法人となり、公益目的事業として災害救援ボランティアリーダーを養成しています。現会長は村田吉隆、元防災担当大臣です。

気候変動編の開催趣旨

私たちは今まで災害救援ボランティア講座を開催し、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震等の地震災害、台風、豪雨の風水害、土砂災害において被災地支援活動を行ってきました。

近年、地球温暖化による気候変動に伴う被害が世界と日本で深刻な問題となるなかで、日本でも、こうした被害に対応するために国際的な枠組みを取り入れた気候変動適応法が2018年6月に制定されました。2020年6月には「気候変動×防災」に関する共同メッセージを、環境大臣と内閣府（防災担当）大臣が発表され、地球環境分野と連携した新たな枠組みで活動が求められるようになりました。

そこで私たちは、地球環境分野との連携を図るために気候変動編の講座を開催することにしました。この講座では気候変動により激甚化する被害を回避、軽減する活動、地球環境分野の枠組みを取り入れたボランティアリーダーを養成することを主な目的としています。

私たちが想定する被害とは、第1は最大想定の上風速、雨量での大規模風水害、第2は暑熱環境による大規模健康被害です。これらの分野では新たに開始された防災気象情報、熱中症警戒アラート等の警報を活用した事前の避難行動等により、人的被害を回避、軽減する政策が重視されるようになり、住民とボランティアによる創意工夫ある活動が求められるようになっていきます。

新講座では、ボランティア活動分野で今までにはない新たな連携があります。講座の講師を見ていただければわかるとおり、地球環境分野、気象分野、水災害分野、医療分野、情報分野と災害ボランティア分野の新たな連携が始まっています。

新講座への皆様の参加をお待ちしています。

2023年3月

講義科目と時間割

各講義後に10分休憩があります。

4月8日（土）

オリエンテーション・事務連絡	09:30 ~ 09:40
第1講義 気候変動と災害ボランティア活動 災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野 次郎	09:40 ~ 10:40
第2講義 気候変動と気候変動適応策 国立環境研究所気候変動適応センター副センター長 脇岡 靖明	10:50 ~ 12:00
【昼休憩】	
第3講義 暑熱環境と熱中症対策 自治医科大学附属さいたま医療センター 救急救命センター長・教授 守谷 俊	13:00 ~ 14:10
ワークショップ1 災害時の熱中症対策を考える 災害救援ボランティア推進委員会総合防災部長 天寺 純香	14:20 ~ 16:20
認定と活動の説明 事務局	16:20 ~ 16:30

4月9日（日）

第4講義 気候変動と日本の気象災害 横浜国立大学先端科学高等研究院客員教授 元気象庁長官 橋田 俊彦	09:30 ~ 10:40
第5講義 気候変動を踏まえた水災害対策のあり方 一財)水源環境センター理事長 元国土交通省海外プロジェクト審議官 平井 秀輝	10:50 ~ 12:00
【昼休憩】	
第6講義 防災気象情報と避難行動 国士館大学 防災・救急救助総合研究所教授 元NHK解説委員 山崎 登	13:00 ~ 14:10
ワークショップ2 防災気象情報とマイタイムライン 災害救援ボランティア推進委員会総合防災部長 天寺 純香	14:20 ~ 16:20
閉講式・認定証授与	16:20 ~ 16:30